

## ●融資可能性のチェックリスト

Check  
**1**

過去10年以内に破産などの債務整理をしたことがない

新規開業の場合、**過去の債務整理のダメージは相当大きい**です。  
債務整理に至った経緯の分析と事業計画も通常以上の実現可能性が求められます。  
無謀な融資申し込みで金融機関に「否決」（融資を断られること）の履歴を残すようなことはせず、しっかり準備しましょう。

Yes No

Check  
**2**

過去5年以内に借入やクレジットカード等の

金融機関は経営者の金銭感覚を計る尺度として「過去の支払いの遅れ」を気にします。  
融資申し込み前の**5年以内に延滞をしていないか**を確認しましょう。

Yes No

Check  
**3**

直近2年くらいは消費者金融の利用なし

金融機関は、「消費者金融などの借入状況」を気にします。  
融資申し込み前の2年くらいは必要最小限の利用に止め、身GREイな状態に整えましょう。

Yes No

Check  
**4**

自分で貯めたお金が100万円以上ある

※見せ金は  
ダメです！

金融機関は「自己資金」の中身・質をととても気にします。  
融資の審査の中では通帳を基に「**どうやってそのお金を貯めたのか？**」までしっかりと確認されますので、見せ金はすぐにバレます。1年くらい集中して、まずは**100万円**貯めましょう。

Yes No

Check  
**5**

自分の貯金と親族等からもらったお金の合計が開業資金の3分の1以上  
ある、かつ合計額で物件取得費（保証金、仲介手数料礼金、前家賃など）

☐ Yes ☐ No

飲食業で安定した開業を目指すなら、目安として開業資金（開業にかかるお金の総額）  
の3分の1以上の自己資金を用意することが理想です。自分でしばらく貯金するか、  
親・兄弟・親戚・友人等多くの人達から支援してもらえるように努めましょう。

Check  
**6**

飲食店での事業経験または正社員としての勤務経験が

☐ Yes ☐ No

金融機関は代表者のこれまでの飲食店での事業経験や経歴を実績として審査しています。  
資金が潤沢にあったとしても最低でも1～2年間は飲食店での経験を  
積んでおいたほうがよいでしょう。

Check  
**7**

「事業を必ず成功させる」という強い気持ちがある

☐ Yes ☐ No

飲食店の開業は、開業準備からお店オープン後の営業まで、やるべきことが  
多岐にわたり生半可な気持ちでは成功できません。  
「事業を必ず成功させる」という強い気持ちが絶対必要となります。

上記項目が全部“YES”の方は、希望額にもよりますが  
融資可能性が高い方です！